

防災ハザードマップとは？

「防災ハザードマップ」とは、災害予想地図のことで、土砂災害、浸水洪水による危険箇所や、指定緊急避難場所等を確認できます。そのほか「避難行動判定フロー」や「マイ・タイムライン」など、防災に役立つ情報も載っていますので、ぜひ手に取ってみてください。

このマップは、市役所や各コミュニティセンターで配布しているほか、市ホームページでも公開しています。



▲市ホームページ

大切な命を守るために

雨や台風が来る前に確認したい
4つのポイント

危機管理課危機管理係 電話 (63) 2158

平成27年関東・東北豪雨や令和元年東日本台風は、本市をはじめ多くの地域に災害を引き起こし、深い爪痕を残しました。地球温暖化の影響などにより、今後も発生する可能性がある大型台風や集中豪雨などの風水害は日頃からの備えが必要です。
今回は「防災ハザードマップ」から、防災対策における4つのポイントに絞って紹介します。

POINT 1 避難行動判定フローで事前に確認しましょう

ハザードマップ
4ページを参照

正しい避難行動とタイミングで、**安全に避難**しましょう！

「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は避難場所に行く必要はありません。

ハザードマップでお住まいの地域の浸水の深さに応じて、「**立退き避難**」か「**屋内安全確保**」かを事前に確認しておきましょう。

避難行動判定フロー

自分の家がどこにあるかハザードマップで確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、鹿沼市からの避難情報を参考に、必要なときは避難してください。

はい

災害の危険があるので、**原則として※、立退き避難（自宅の外に避難）**が必要です。

例外

※土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。
※浸水の危険があっても、以下の場合は自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。
①家屋が流失・倒壊するおそれがない
②浸水深より居室は高い
③水が引くまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分

ご自身または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日ごろから相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル3 高齢者等避難が出たら、鹿沼市が指定している避難場所に避難しましょう。

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4 避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう。（日ごろから相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル4 避難指示が出たら、鹿沼市が指定している避難場所に避難しましょう。

POINT 2

警戒レベルに応じた避難行動を確認しておきましょう

ハザードマップ
2ページを参照

「警戒レベル」は、水害や土砂災害の危険性が予想される場合に災害発生の危険度を直感的に理解し、状況にあわせた的確な避難行動がとれるように、5段階のレベルで表したものです。次ページにあるアプリやメールから、防災情報を確実に取得し、それぞれのレベルと自分たちが取るべき行動を確認しておきましょう。

気象庁が発表

市が発令

警戒レベル 1

警報級の可能性

災害への心構えを
高めましょう

警戒レベル 2

注意報

自らの避難
行動を確認

警戒レベル 3

高齢者等避難

危険な場所から
高齢者等は避難

警戒レベル 4

避難指示

災害が発生する恐れ
が極めて高い状況危険な場所から
全員避難

警戒レベル 5

緊急安全確保

災害が発生し切迫
した状況命の危険
直ちに安全確保！

マイ・タイムラインを考えてみましょう！

ハザードマップ
69ページを参照

マイ・タイムラインとは、台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇するときに、一人ひとりがとるべき防災行動のタイミングを整理する行動計画表です。

それぞれの家族構成や生活環境にあったわが家のマイ・タイムラインを作ってみましょう！

災害発生
までの
時間5
日前気象情報
避難指示等

台風に関する気象情報

台風が発生



雨や風がだんだん強くなる

半
日前大雨注意報・洪水注意報
氾濫注意水位到達

川の水が増える

5
時間前避難判断水位到達
高齢者等避難激しい雨で、
河川敷にも
水が流れる3
時間前氾濫危険水位到達
避難指示いつ氾濫し
てもおかし
くない状態0
時間氾濫が発生
緊急安全確保

川の水が氾濫



わが家のマイ・タイムライン

(例を参考に書いてみましょう)

〈例〉

- ・台風の今後を調べ始める
- ・避難するときに持っていくものを準備する

防災情報アプリで
情報を集めましょう！

〈例〉

- ・住んでいるところと上流の雨の量を調べ始める
- ・川の水位を調べ始める
- ・避難しやすい服装に着替える

〈例〉

- ◎高齢者等は避難開始

〈例〉

- ◎安全なところへ移動を始める

全員避難完了！

〈例〉

- ・命の危険 直ちに安全確保

※切り取ってご使用ください

市長退任
財政状況

防災対策

南摩ダム

介護予防
子育てがん予防

保険証

保険料納付
景観重要建造物叙勲褒章市功労者
フラッシュ

市民のひろば

みんなの健康

お知らせ

いちご市の本棚

POINT 3

地域の防災力を強化しておきましょう

ハザードマップ
65ページを参照

災害による被害を最小限にとどめるには、自分たちの地域は自分たちで守るという気持ちで地域のみなさんが「力」を合わせて行動することが重要です。

地域のつながりが被害の拡大を防ぎ、命を守ることにつながります。地域の自主防災活動に積極的に参加することで、近隣の人と顔見知りになり、地域での協力体制を高めることができます。



POINT 4

いざというときの非常持ち出し品を準備しましょう

ハザードマップ
66ページを参照

素早く避難できるように、日頃からバッグに詰めるなど準備しておきましょう。その際自分だけに必要なもの（薬・介護用品、赤ちゃん用品・ペット用品等）も忘れないようにしましょう。

非常持ち出し袋に用意する物の例

食品類

- ☐ 水
- ☐ 食品（アルファ米や缶詰等）

医薬品等

- ☐ 救急セット
- ☐ マスク
- ☐ 手指の消毒液
- ☐ 常備薬
- ☐ 体温計

生活用品

- ☐ 現金（小銭多めに）
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 着替え
- ☐ 歯ブラシ
- ☐ タオル
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ 携帯電話の充電器
- ☐ ラジオ

各家庭に必要なもの

- ☐ 赤ちゃん用品
（おむつやミルク、ほ乳瓶等）
- ☐ 生理用品
- ☐ コンタクトレンズ・めがね
- ☐ 入れ歯・補聴器



※非常持ち出し袋のほか、食料や飲料水、生活用品等を3日以上備蓄しましょう。

命を守るために、アプリやメールで市からの防災情報を入手しましょう。

ハザードマップ
3ページを参照

市では、災害の発生が予想される場合に、防災情報アプリ（@InfoCanal）や防災情報メールなどで防災情報をお知らせしています。

事前に登録し、大雨や台風の時などは、積極的に情報を集めましょう。

防災情報アプリ （スマートフォン）

iPhoneの場合
（App Store）



Androidの場合
（Google Play）



防災情報メール （フィーチャーフォン・ガラケー等）

bousai.kanuma-city
@raidens3.ktaiwork.jp
へ空メールを送信してください

